

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
法学基礎演習	照井 遥瑛	講義	2		1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 5	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	法律学を勉強するにあたって、ほとんどの1年生は、「どのように勉強したらよいか分からない」、「試験の答案やレポートをどのように書いたらよいか分からない」、「資料の調べ方や判決文の読み方がよく分からない」といった悩みを抱えていると思います。この授業では、このような悩みや疑問を解消し、法律学の学習にできるだけ早く慣れてもらうことを心がけます。具体的には、法令の調べ方、条文の読み方、裁判制度の基礎知識、判例や法律文献の探し方、文献の引用方法、判例の読み方、試験答案やレポートの書き方を学習します。また、民法のうち関心のあるテーマについて各自1回は報告を行ってまいります。						
到達目標	①文献調査・判例の読み込み等を通じて、法的な問題を発見する力、簡潔に報告する力、条文を解釈・適用するための基礎的な技法を身に付けること。 ②問題演習を通じて、論理的な文章を書く力を身に付けること。						
回	学習内容						
1	ガイダンス（自己紹介、演習の進め方、成績評価方法の説明など）						
2	法令の調べ方、条文の読み方、裁判制度の基礎知識						
3	判例や法律文献の探し方						
4	文献の引用方法						
5	判例の読み方①：宇奈月温泉事件（大審院昭和10年10月5日）の事実概要を読んでみる						
6	判例の読み方②：宇奈月温泉事件の判決文を読んでみる						
7	演習での報告の仕方						
8	判例の読み方③：隣人訴訟（津地方裁判所昭和58年2月25日）の事実概要を読んでみる						
9	判例の読み方④：隣人訴訟の判決文とその後を読んでみる						
10	行為能力と意思表示の箇所から関心のあるテーマについて報告						
11	代理と時効の箇所から関心のあるテーマについて報告						
12	物権法の箇所から関心のあるテーマについて報告						
13	担保物権法の箇所から関心のあるテーマについて報告						
14	試験答案やレポートの書き方						
15	まとめ						
予習内容 復習内容	予習：事前に配布する資料や報告者が報告するテーマに関する判決や文献に目を通すこと。 復習：演習で扱ったテーマや専門用語を、書籍、レジュメ、ノート等で確認すること。						
教科書	特に指定はしませんが、最新年度版の小型六法を必ず持参してきてください。また、文献調査・報告をする上で有意義な書籍については開講時に紹介します。						
成績評価	報告・発言（50%）と報告レジュメ等の成果物（50%）を総合して成績評価を行います。						
実務経験							
その他 特記事項	今年度から本学に着任しました。一緒に相談しながらより良い演習にしていきたいと思っています。演習の主役は学生ですから、積極的に参加しようとする意欲をもって毎回出席してください。教員として、そのためのサポートを惜しみません。民法Iを履修済みであることが望ましいです。なお、演習内で挑戦してみたいことがありましたら、遠慮なく申し出てください。						